

みしまファンネット推進事業

(シティプロモーション、LINE を活用した情報配信 等)

アナ： 「市長が語る 2019 三島」第 11 回の今日は、「みしまファンネット推進事業(シティプロモーション、LINE を活用した情報配信等)」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 早速ですが、まず「シティプロモーション」について、三島市ではどのような取り組みを行っているのでしょうか？

市長： はい。三島市では、「住んでよし、訪れてよし」と感じてもらえる 魅力いっぱいの三島の旬の情報を、市民の皆さんはもちろん、市外の方々にもタイムリーにお届けすることにより、観光客や定住人口の増加を図っていきたいと考えています。

具体的な取り組みといたしましては、フェイスブックやユーチューブなどを活用し、最新の情報をお届けするとともに、市ホームページに「シティプロモーション専用サイト」の開設や「住むなら三島DVD」の作成などを行い、三島の魅力の発信に努めています。

この中でも大きな取り組みの一つとして、昨年から、東京・渋谷駅前の大型ビジョンを活用して、三島市の動画CMを放送しています。

アナ： 私も市のフェイスブックに掲載されている動画CMを拝見しました。

市長： 渋谷駅前という、とても人通りが多い場所で、午前9時から24時まで、1時間に1回、三島市の30秒のCMを放送し、首都圏から新幹線で50分程度の近さであること、また、自然環境が良好で、新幹線通勤も可能な街であることなどをアピールしています。

アナ： 放映されている2本のCMに三島の情報がギュッと盛り込まれていますね。

市長： そうですね。三島市ではこのように、インターネットや動画の配信、パンフレットの発行など様々な形で情報を発信して、多くの方々に三島に住んでいただいたり、訪れていただいたりするためのプロモーション活動を行っています。

アナ： これらの活動で三島に住んでいただく方や観光客の方が増えるといいですね。

市長： はい。住んでいただく「定住人口」、観光で来られる「交流人口」はもちろん、「関係人口」と申しまして、三島に住んでいない人でも、三島のことを応援していただく人たち(三島のファン)を増やしていくことも大変重要だと考えていますので、このシティプロモーションを通じまして、三島のファンを増やしていきたいと考えています。

アナ： 三島には大学もありますので、三島に住んでいたことがある方が全国にいらっしゃると思います。そのような方に三島のことを応援していただいたり、SNSで三

島の情報発信をしていただいたりすることにより、三島の魅力が全国に伝わりますね。

市長： まさしくそのとおりですね。

アナ： それでは続いて、「LINEを活用した情報発信」を開始する予定とのことですが、こちらについて教えてください。

市長： はい。現在、市民の皆様へ直接、防犯や災害などの情報をお届けする手段の一つとして、「市民メール」がございますが、今年度はこれに加え、「LINEを活用した情報発信」を行っていきたいと考えています。

アナ： LINEも幅広い世代の方々に利用されていますね。

市長： そうですね。新たな情報発信のソフトを導入するのではなく、多くの方が日ごろから使い慣れているLINEを活用し、防犯や災害、イベントなどの情報を発信していきます。

アナ： 情報が様々な手段で配信されるというのは、特に災害などの緊急時にとっても役に立ちそうですね。

市長： はい、災害の状況に応じてとなりますが、市民メールではできなかった画像や避難所のマップの配信も可能となります。

現在、このLINEによる情報発信の導入準備を進めておりますので、準備が完了した際には、改めて市民の皆様にお知らせをさせていただきます。ぜひ利用者登録をしていただき、皆様にご利用いただきたいと思っております。

アナ： そうですね。これまでの市民メールの配信も継続して続けていくとのことですので、今年度導入予定のLINEによる情報発信と併せて市民の皆様へぜひご利用いただきたいですね。豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。